

## 令和5年第4回大野城市議会9月定例会一般質問通告

○本会議（3日目）一般質問

令和5年9月19日（火） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
平田 不二香	<p>1. いくつになっても誰もが自分らしく生きることができる大野城市であるために</p> <p>(1) 本市の高齢化の現状と将来像、それに伴う地域包括ケアシステムの目指すところは</p> <p>(2) 地域包括支援センターの役割は</p> <p>(3) 介護保険適用サービスにはどのようなものがあるか</p> <p>(4) 介護認定を受けていない高齢者への支援は</p> <p>(5) 「認知症サポーターキャラバン」事業について、その目的と本市の取り組みは</p> <p>(6) 高齢者の住まいについて</p> <p>(7) 民生委員・児童委員について</p> <p>(8) 亡くなられた後の手続きを任せられる親族がいない人などを対象にした死後事務委任契約の事業化について調査研究は進んでいるか</p> <p>(9) 西鉄高架下のスペースを賃貸住宅や運動公園、集会所など、高齢者を含む市民のためのサービスに有効活用できないか</p>
岡部 かおり	<p>1. ICT教育環境について</p> <p>(1) 本市の小中学校教育のICT化の目的を伺う</p> <p>(2) 第6次大野城市総合計画における学校教育環境の振興について</p> <p>(3) ICT専門の教職員等の人員配置について</p> <p>(4) 子どもたちが必要とするときにいつでもタブレットとキーボードを使用できる環境整備について</p> <p>(5) 小学校のプログラミング教育について</p> <p>2. 小中学校水泳授業の民間委託について</p> <p>(1) 今年度の小中学校の水泳授業実施時間を伺う</p> <p>(2) 今後の小中学校水泳授業の民間委託実施について伺う</p>
森 和也	<p>1. 要支援者（高齢者・障がい者）の現状について</p> <p>(1) 介護認定について</p> <p>(2) 65歳問題について</p> <p>(3) 高齢者見守りシステムについて</p> <p>(4) 個別避難計画について、本年7月13日付の西日本新聞に、「災害時要支援の高齢者ら 個別避難計画 全市区町村の25%が未作成」とあったが、本市において、この「個別避難計画」の作成状況は、どのようになっているか</p>
中村 慎一郎	<p>1. 西鉄天神大牟田線高架下利活用の現状及び見通しについて</p> <p>(1) 高架下利活用の事業主体である本市および西日本鉄道株式会社における事業の棲み分けについて</p> <p>(2) 大野城市高架下等整備・運営事業に係る特定事業者の選定の変更に関する経緯と今後の見通しについて、再公募の要因も含めて伺いたい</p>

	<p>(3) 西鉄天神大牟田線高架化事業は本市、春日市、福岡市にまたがるが、行政または市民参加の連絡協議会の設置等、連携状況について伺いたい</p> <p>(4) 本市の高架下利活用の事業は、全国でも類例のない規模であるため、高架下整備における先行事例の分析を踏まえて段階的に進めるなど、事業進行の再検討をする必要性はないか</p> <p>2. 高架下事業と周辺商業地域との連携および共同事業について</p> <p>(1) 高架下事業と周辺商業地域における関連事業の有無について</p> <p>(2) 高架下事業により人の動線も変わり、イベント開催などで集客力も向上する可能性があるが、駐車場の整備あるいは公共施設の駐車場の一時的貸し出しの検討はされているか</p> <p>(3) 春日原駅ロータリーとイオン大野城を経由するバス路線、あるいは駅東口から錦町商店会、イオン大野城バス停までの動線環境改善の検討について</p> <p>(4) 本市だけでなく筑紫地区における産業振興の拠点として、利便性の高い高架下あるいは周辺地域において経営指導も可能なインキュベーション施設等は検討しているか</p>
<p>神田 徳良</p>	<p>1. ひきこもり支援について</p> <p>(1) 本市における15歳以上のひきこもり状態にある市民の人数は把握しているか</p> <p>(2) ひきこもり状態にある人の実態調査は行ったか。行った場合その調査方法は</p> <p>(3) ひきこもり状態にある人の中で、収入のない人や介護・障がい等の市の福祉サービスを受けていない人は何人いるか把握しているか。またそのような人たちに向けての文書や訪問による実態調査はできているか</p> <p>(4) ひきこもり状態にある人への支援策はどのようなものがあるのか</p> <p>(5) 相談に来られない方への支援策はあるか。また行政からアプローチする為の方策はあるか</p> <p>(6) ひきこもり状態にある人の居場所や就労支援の場所はあるか。またそのような場所の設置を今後検討する予定はあるか（ネット上の居場所等も含む）</p> <p>(7) ひきこもり状態にある人の家族会の開催や、ひきこもりの状態にある人の支援協議会等の開催はできるか</p> <p>(8) ひきこもり状態にある人が就労支援を受け、就労出来るようになった場合、どのようなメリットがあると考えられるか</p> <p>(9) 庁内の連携をとり、ひきこもり支援担当を福祉サービス課の中に設けることはできないか</p>
<p>河村 康之</p>	<p>1. デジタル化に伴う障害者手帳の活用と見直しについて</p> <p>(1) 障害者手帳の現状と活用について</p> <p>(2) デジタル障害者手帳の推進について</p> <p>2. 障がいのある方だけでなく、援助や配慮を必要としている人たちが身に付ける「ヘルプマーク」について</p> <p>(1) 「ヘルプマーク」の推進と周知について</p> <p>3. 民法第233条の改正による本市の今後の対応と考えを問う</p> <p>(1) 「隣地から越境してきた竹木の枝等の切取り」のルール改正について</p>
<p>河野 敏生</p>	<p>1. 大野城市立小中学校の児童生徒の不登校問題について</p> <p>(1) 大野城市の小中学校の児童生徒の不登校の状況について</p> <p>(2) 不登校児童生徒の進路保障（社会的自立）のための取組について</p>

	<ul style="list-style-type: none"><li>(3) スクールソーシャルワーカー（以下SSW）の関わりの強化について</li><li>(4) 不登校児童生徒の増加の原因と解決のための長期的展望について</li></ul> <p>2. 大野城市の小中学校の教員不足問題について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 教職員の欠員の状況について</li><li>(2) 教育現場の状況について</li><li>(3) 教職員の時間外勤務の現状と時間外勤務削減の取組について</li></ul> <p>3. 子どもの貧困問題について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 子どもの貧困問題について</li></ul> <p>4. 部落差別の解消を推進する条例について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 国や県に続き、「部落差別解消推進法」の理念を踏まえた条例の整備をしてはどうかと考えるが、市の考えは</li></ul> <p>5. アンケート調査の設計・分析について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 「中学生の食事に関するアンケート」の実施方法について</li></ul>
--	--

○本会議（4日目）一般質問

令和5年9月20日（水） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
平井 信太郎	1. 下大利団地地区のリニューアルについて (1) 下大利団地のリニューアルの状況について (2) 下大利小学校の現状について 2. 紫池公園周辺の再整備について (1) 紫池公園周辺再整備の行政区からの要望について
松崎 百合子	1. 気候変動対策・脱炭素ゼロカーボンに向けて、住宅と学校の断熱化、太陽光エネルギー化、および気候市民会議について (1) 「大野城市環境基本計画」が本年5月策定されました。気候変動対策、ゼロカーボンシティ実現に向けて、特に力をいれた計画は、どのような内容でしょうか (2) 市庁舎等のZEB化について (3) 近年の暑さと寒さ、エネルギー価格高騰で市民生活は苦しくなっています。脱炭素で暮らしと健康を守る住宅・建築技術は、断熱気密、高効率設備、太陽光エネルギー活用の3つといわれています (4) 小中学校の脱炭素・太陽光発電と断熱化について (5) ミニパブリックス（無作為抽出の市民の参加・熟議の場）・気候市民会議の設置について 2. ランドセルクラブでの長期休み中の昼食提供について (1) こども家庭庁が、放課後児童クラブの長期休業期間等における食事提供について宅配弁当の活用等の事例を紹介し、全国の自治体に検討を促しています。その内容とその後、本件についての動きや交付金の情報などありますか (2) 本市ランドセルクラブにおいて、本年度夏休みからお弁当の注文ができるようになりました。実施内容、利用状況、意義と課題はいかがでしょうか (3) 奈良市や八王子市では、市の施策として放課後児童クラブで夏休みに250円で昼食を提供されています。市として満足度調査や必要な子どもが頼むことができる支援が必要と考えますが、いかがでしょうか (4) 注文弁当の利用について、就学援助の対象にできないでしょうか 3. 福祉専門職である社会福祉士の正規採用について (1) 2020年9月議会質問において、本市では非正規職員のみとのことでしたが、その後の状況はいかがでしょうか (2) 社会福祉士の必要性について、市はどのようにお考えでしょうか (3) 社会福祉士が正規職員として、市政の多様な場で長期的に働き、政策決定に関わることが重要であるため、まずは経験者複数名の採用が必要と考えますが、いかがでしょうか 4. 障がい者の定期乗車券の割引支援について (1) 民間会社の交通機関運賃割引制度について、市として相談を受けたり、取り組みを行った経緯はあるでしょうか (2) 身体・知的障がい者の第2種の定期券の割引について、実施団体への要望、協議はできないでしょうか

<p>松田 美由紀</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 誰ひとりとして取り残さない情報発信について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 広報「大野城」は外国人向けにどのように発信しているか（情報発信方法、対応言語）</li> <li>(2) 外国人向けの広報「大野城」について</li> <li>(3) 声の広報について</li> <li>(4) より多くの人に公平に情報が届けられる方法について検討はしているのか</li> </ol> </li> <li>2. 介護職員の人材確保とメンタルケアについて <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 介護職員の求人状況について</li> <li>(2) 介護人材の確保について</li> <li>(3) 介護職員向け相談窓口について</li> </ol> </li> </ol>
<p>永利 恭子</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福祉団体等各種団体への補助金の交付について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各種団体等への補助金について</li> <li>(2) 大野城市母子寡婦福祉会の補助金については、令和3年9月定例会において、母子寡婦福祉会へ必要な支援を検討すると回答がされているが、その後どうなったか</li> <li>(3) 団体補助金について、横断的にオープンな場で議論するような仕組みを作ることはできないか</li> </ol> </li> <li>2. 敬老祝い金について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 敬老祝い金について</li> </ol> </li> <li>3. 指定管理者制度について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 指定管理者制度について</li> </ol> </li> <li>4. 学校給食の無償化について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校給食の無償化について</li> </ol> </li> </ol>
<p>原田 真光</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. JR九州鹿児島本線の踏切について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業による高架切り替えに伴い、自動車の交通状況が変化した。鹿児島本線の踏切による渋滞が一層目立つようになり、特に春日公園近くの天田踏切の渋滞は慢性的に起きている。市は現状を把握しているのか</li> <li>(2) 踏切の警報機と遮断機の時間に関する法的な基準は</li> <li>(3) 渋滞軽減のために踏切の警報機と遮断機の時間調整をJR九州や県に働きかけを行う必要があると考えるが市の見解はどうか</li> <li>(4) 宝珠踏切の現状について</li> <li>(5) 上大利・坂本線の時間帯指定による一方通行への変更が子どもの安全のために必要だと考えるがどうか</li> </ol> </li> <li>2. 平田川沿いの整備について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 南ヶ丘2区を流れる平田川沿いには桜とツツジが植えられており、季節には美しい光景が見られる。桜とツツジが植えられた経緯は</li> <li>(2) 剪定等は行われているのか</li> <li>(3) ソメイヨシノの寿命は諸説あるが60年とされている。今ある木が寿命を迎えた場合、市はどう対応する予定なのか</li> </ol> </li> </ol>

	<p>(4) 平田川沿いは斜面になっており安全のためガードレールが設置され、折角の場所が活かされていない。元来坂の多い地区であり一息つける場として、また住民の憩いの場として、東屋やテーブルや椅子等の整備の要望の声が挙がっているが市の見解は</p>
大塚 みどり	<p>1. 共生社会を目指す取組について</p> <p>(1) 平成28年4月1日「障害者差別解消法」施行後の本市の現状について</p> <p>(2) 障害者差別解消法は令和3年5月に改正され、令和6年4月1日より改正法が施行される。国及び地方公共団体の連携協力の責務の追加や、民間事業者による、障がいがある人への必要かつ合理的な配慮の提供の義務化などを主な内容としている。改正法の趣旨を踏まえた取組について本市の見解を伺う</p>
山上 高昭	<p>1. 第6次大野城市総合計画後期基本計画について</p> <p>(1) 「牛頸の田園風景」の利活用について</p> <p>(2) 農業施策の目的・目標について</p> <p>(3) 農業の状況について</p> <p>(4) 「牛頸の田園風景」の状況について</p> <p>2. 職員体制について</p> <p>(1) 副市長複数制について</p> <p>(2) 自治体を取り巻く社会情勢について</p> <p>(3) 行政サービスについて</p> <p>(4) 職員数について</p>